

地域住宅生産者グループ

地域優良住宅「在来工法の会」

| 地域型復興住宅の名称 | 対象となる地域 |
|---|---------|
| 森の呼吸に包まれる家 | 宮城県内 |
| グループの特徴とメッセージ | |
| <p>私ども在来工法の会は地産地消を目的に平成 16 年宮城県の支援を受けながら発足しました。川上から川下まで地域の資材と技術を使い安全安心な住宅供給を目指して活動を始めました。東日本大震災においても当会の会員は新築の相談を後回しにして、地震被災の調査点検に奔走しました。そしてこれまで 1 年目は小さな被害でも自分たちが作った住宅の補修を最優先し 2～3 年目で内陸の土地のある方の自力再建を支援してきました。しかし多くの被災者は大手ハウスメーカーや各地から新たに進出したハウスメーカーが多く契約している状態です。このような状態で 10、15 年後のアフターメンテナンスは大丈夫なのかと思えます。私どもは地域の住宅生産の担い手を育て技術の継承と次代を担う人材の育成をしなければなりません。復興住宅は地域の木材で地場の設計事務所、工務店の力で行うと強い気持ちで取り組みます。</p> | |

| グループの基本情報 | | 地域型復興住宅の主な工法・価格帯 | |
|-------------|---|---|--------------------------------------|
| グループ名称 | 地域優良住宅「在来工法の会」 | 主な構造・工法 | 木造軸組工法 |
| 所在地 | 仙台市泉区長命ヶ丘 3-31-17 | 価格帯 | 1,000～1,500 万円 |
| 結成年月 | 2004 年 10 月 | 価格の基準面積 | 100 m ² |
| グループ形態 | 任意団体 | 価格に含まない項目 | 屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費 |
| 主たる業態 | 設計事務所・工務店、宮城県木材協同組合 | *価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。 | |
| グループ構成 | 合計 32 社 | グループ全体の施工実績（年間） | |
| ※各事業者名は別紙 | 原木供給 : 1 社 設計 : 10 社 施工 : 21 社 | 建設戸数※（木造戸建） | 100 戸 |
| 代表者名 | 高橋 清秋 | 地域材活用住宅 | 70 戸 |
| 主な受賞歴・活動内容等 | 会員各社でみやぎ木造住宅コンクールに出展し受賞している。またその主催者は会員の木材協同組合、審査委員長は当会会長です。 | うち長期優良住宅 | 20 戸 |
| | | グループの施工実績 | あり 100 戸 |
| | | グループとしての地域型住宅の受注可能戸数 | 70 戸 |
| | | 自由記入欄（上記以外の実績等） | 500 万円以上の大～中規模リフォーム工事を 100 戸程度受注(年間) |

連絡窓口

| | | | |
|--------|----------------------|-----|------------------------|
| 担当者名 | 高橋 清秋 | メール | tsekei@jcom.home.ne.jp |
| 電話番号 | 022-378-3246 | FAX | 022-378-3769 |
| ホームページ | http://www.tsekei.jp | | |

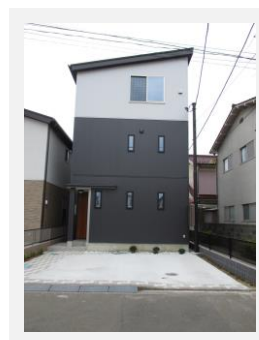
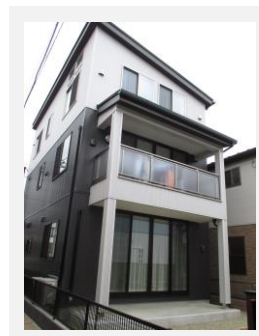
地域型復興住宅のイメージと特徴

■ 地域材にこだわったシンプルな家づくり 地産地消を設立のコンセプトに

- ・ 代表事例を元に地域型復興住宅の特徴を説明
- ・ 県産杉材を使い地域の工務店が施工
- ・ 外断熱工法で温かい構造で省エネ住宅
- ・ 内部仕上げはシンプルに木材現しで室内空気をいつもきれいに保つ造りです。

1. 地域材を使った住まいづくり

- ・ (代表事例を元に地域型復興住宅の特徴を説明)
- ・ 内装は自然素材の木材を程よい量使った住まい
- ・ 外断熱工法で温かい構造で省エネ住宅
- ・ プランと外観はシンプルとする。
- ・ リビングはなるべく天井を高くする。
- ・ 木材を仕上げに使うときは床、壁一部に異なった仕上をして圧迫感をなくした使い方をしよう心掛けています。



代表的事例の概要

| | | | |
|----|---------------|-----|---|
| 構造 | HA(HighArt)工法 | 床面積 | 1階:43.88 m ² 2階:45.54 m ² 3階 45.54 m ² |
| 設計 | (有)高橋建築設計事務所 | 施工 | 榊技工 |

設計方法や地域材活用に関する特徴

■基本コンセプトは各設計事務所共通とする

- ・設計事務所 10 社が地域復興住宅のコンセンサスを共有し、依頼者のニーズを的確に反映し打合せを密にして、切磋琢磨して工夫、設計力を最大限出せるように、また工務店への設計意図が着実に伝わるように図書の整備をする。
- ・設計者は依頼書の考えを優先し、技術や法的なアドバイザーであることをわきまえ我を通すことの無いようにするとともに地産材を使った設計に努める。

主に活用している地域材について

| | |
|---------|--------------------------------------|
| 地域材の名称 | 優良みやぎ杉 |
| 樹種 | 杉、アカマツ |
| 産地 | 宮城県登米地域・栗駒地域 |
| 認証制度等 | みやぎの木の家づくり |
| 主に取扱う材種 | 無垢材、集成材 |
| 主に取扱う部材 | 柱材、梁材、羽柄材、内装材 |
| 自由記入欄 | 地域型復興住宅では優良な県産材を 40% 以上活用した住宅を供給します。 |

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■長期優良住宅仕様を基本とする

- ・耐震性は 2 等級以上とする。
- ・耐久性を確保するとともに自分でアフターメンテナンスがしやすい構造とし、自然素材を多用することにより維持管理容易性は、普遍性の第三者機関に依頼し確保する工夫を考えます。
- ・住宅は可変性があり家族構成の変化や、転売した場合のことを考えて内部仕切り等は極力耐力壁にしない構造とします。
- ・バリアフリー化や省エネルギー化は基本性能なのでしっかり確保するとともにそれぞれのクライアントに対応したものにします。
- ・施工方法は各工務店色々な考えで行なっていますが復興住宅については、研修を積んで同じ方向性をもって性能を確保するとともに、依頼者の要望に応えます。



地域住宅生産者グループ

地域優良住宅「在来工法の会」

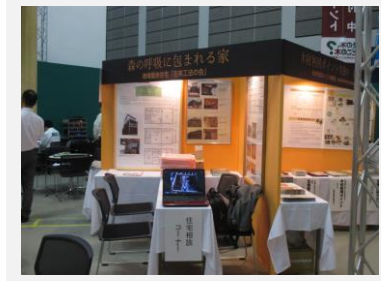
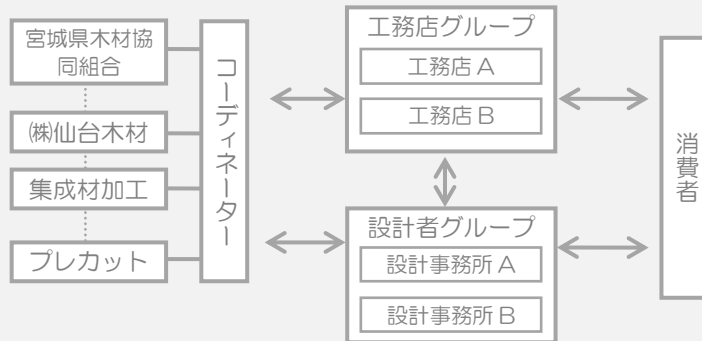
地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■宮城県木材協同組合会員の製材所や森林組合等による供給体制

・宮城県木材文化ホールを活動拠点とし隣接地に仙台木材市場があります。みやぎ材・木になるフェアに毎年協力して地産地消の木材供給を一般消費者にアピールするとともに木に触れてもらいぬくもりを肌で感じてもらうなどの活動をしています。



地域優良住宅「在来工法の会」流通ネットワーク体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

耐震博、リフォームフェア、被災地相談会等いろいろな所へ出向いて相談対応するとともに震災で途絶えていた研修会等体制を再構築するとともに施工建物の維持管理（アフターサービス）体制にも取り組みます。

